

## 令和元年度第2回子ども・子育て会議 議事要旨

日 時：令和元年10月30日（水）14時00分～15時50分

場 所：香美町村岡地域局 3階 301会議室

出席者：委員11名（4名欠席） 事務局4名

### 《次第》

開会

あいさつ

議題

- (1) 第1期計画の進捗状況について
- (2) 地域子ども・子育て支援事業について
- (3) 5年間の計画期間における「量の見込み」について
- (4) 子ども・子育て支援法に基づく基本指針の改正について

その他

閉会

### 《資料》

資料19・・・第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況

資料20・・・地域子ども・子育て支援事業について

資料21・・・第2期計画における事業の方向性について

資料22・・・病児保育事業の概要

資料23・・・教育・保育に関する量の見込みと確保方策

資料24・・・地域子ども・子育て支援事業量の見込みと確保方策

資料25・・・子ども・子育て支援法に基づく基本指針の改正について

## 《議題》

### (1) 第1期計画の進捗状況について（事務局による説明）

#### ■委員意見

- ・時間外保育事業の拡充については、需要があるのであれば前向きに検討すべきである。香住区、村岡区、小代区で、同じ保育料を支払っているのに、受けるサービスが違うのはおかしい。
- ・子育て支援情報の提供で、ICT導入とはどのような内容なのか。

#### □事務局

- ・小代認定こども園の時間外保育事業の拡充については、検討する。
- ・現在は紙媒体で情報提供しているが、スマホアプリを活用して、予防接種のスケジュールや健診結果等のお知らせ等ができるものを考えている。

### (2) 地域子ども・子育て支援事業について（事務局による説明）

#### ■委員意見

- ・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業とは、具体的にどのような事業か。
- ・病児保育事業について、「できれば利用したい」が31.7%ある以上、看護師の確保が課題だが、村岡・小代区での実施を検討していく必要がある。
- ・ファミリー・サポート・センター事業について、認知度が高ければ利用されたケースが実際にあった。フルタイムで勤務している方は、忙しい時間等に子どもに対して厳しくしてしまう場合があると聞くので、ファミリー・サポート・センター事業の認知度が上がり、事業を活用されれば、育児がやりやすくなると思う。

#### □事務局

- ・要保護児童対策地域協議会を運営するにあたり、その構成員の専門性を強化する事業である。現在は、子ども家庭センターや警察などの専門性のある方に委員をお願いしているので、国庫補助を活用してまでのことは考えていない。
- ・病児保育事業の村岡・小代区の実施については、県単独事業の活用も含めて検討していく。
- ・ファミリー・サポート・センター事業については、事故の問題や、利用増による保育所経営に与える影響等を考えると、慎重に判断をする必要があると考える。アンケートではニーズがない結果となったが、必要な時に必要なサービスを受けることができるメリットがある事業なので、潜在的ニーズもこれから把握していくよう努めていく。

○病児保育事業…村岡・小代区での実施を、令和2年度に再度検討し、令和3年度に結論をだす。

○子育て援助活動支援事業…2期計画期間中は実施しない。

### (3) 5年間の計画期間における「量の見込み」について（事務局による説明）

#### ■委員意見

- ・教育・保育に関する量が今後減少していくが、施設数を見直す考えはないのか。
- ・今後、児童数が減少していく中、民間施設は経営が困難になっていく。子ども・子育て会議で、今後のあり方をしっかり検討すべきである。
- ・資料の量が多く、内容も専門的で分かりにくいので、委員として意見も言い難い。議論できる基本的なデータの提示もお願いしたい。

#### □事務局

- ・議論していく必要性はあるが、5年間で施設数を減らす考えはない。
- ・教育・保育の提供体制については、さまざまな要素により難しい面があるが、次回以降の会議で議論していただく。
- ・分かりやすい資料の作成に努める。

### (4) 子ども・子育て支援法に基づく基本指針の改正について（事務局による説明）

#### ■委員意見

- ・特になし